

定番商品の消長に思う ～カールとスーパーカップ～

ポテトチップスやカールなどスナック菓子が店頭から消えるとの話題がニュースになる時代となった。国内のスナック菓子の市場規模は約 4200 億円（14 年）で年々拡大している。これはお菓子＝子供の時代から大人を対象した商品開発、CM等マーケットの拡大を図ってきた結果だ。明治の「カール」は 68 年スナック菓子の先駆けとして、お菓子＝甘いイメージを打ち破り、CMソングとともに大ヒット、約 40 年のロングセラー商品となった。販売不振の原因は①マーケットの変化（ポテト商品優位）②消費者志向（コンビニ対応）③メーカーの投資意欲（CMなど）があるようだ。一方、明治の定番商品であるカップアイス「スーパーカップ」は 94 年発売以来今でもトップシェア誇る。消費者支持のポイントはボリューム感（100 円 150ml を 200ml に）だ。国内のアイスクリーム市場も約 4600 億円で堅調に伸びている。アイスはスーパー特にコンビニで冷凍庫のシェア争いが激烈だが、スーパーカップは控えめな商品ながらトップシェアを続けてきた。理由は①ボリュームと価格設定②安心感（2 位転落時にも市場調査を基に味は微修正したのみ）③多様化挑戦（他社の攻撃に対し基本商品は変えず多様化）、ブランドを守り攻めるところは攻めたとのことだ。さて、カールもスーパーカップも発売当初常識を打ち破る商品開発をし、トップブランドとなったが、その後の展開、消長は象徴的だ。農協も 70 年の定番商品・ブランドだが、政府の農協攻撃はともかくも、組合員や世間、社会経済の動き捉え守るべきは攻めるところこそ、自己改革だと思うがどうか。

常務理事 浦野邦衛

【地域開発部】

モンドラゴン協同組合企業への視察研修に行ってきました

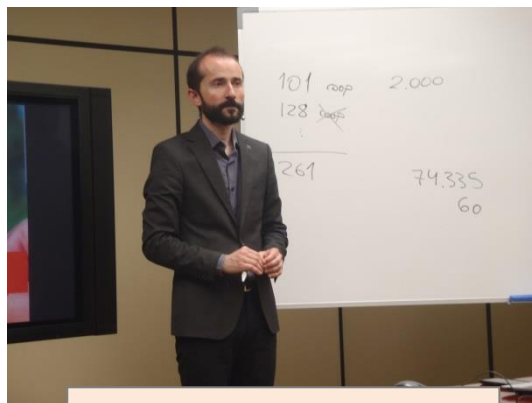


写真① モンドラゴン協同組合本部の様子

この度、家の光海外協同組合視察研修に参加したので、モンドラゴン協同組合企業での研修内容をご紹介します。

モンドラゴン協同組合は、労働者協同組合の集合体の名称で、101 の協同組合から構成されています。その内訳は、工業、信用事業、小売事業、農業、教育分野、研究・開発などを行う協同組合と、国外には 128 の子会社があり、グループ全体で約 7 万 5 千人の従業員がいます。

組合の使命を端的に言うと「労働者の地位向上」、「仕事の創出」、「教育の重視」です。その取り組みをみると



写真② 本部広報担当のアンデル氏

- ①それぞれの協同組合で働く従業員は組合員であり、平等に 1 人 1 票の議決権を持つ組合の所有者である。
- ②101 の協同組合の間で従業員の再配置・調整を行い、雇用を維持し続けている。また、利益についても小グループ内で一定割合を再配分し、余剰金は従業員に分配している。
- ③モンドラゴン大学を運営し、高等教育の実施、職人の養成、協同組合教育を実施している。などがあげられます。

こうした自主・自立・民主的運営、教育活動のほか、組合間の協同や、地域社会への貢献も積極的に行っています。これらの取り組みは ICA の協同組合原則に記されているものでもあり、JA グループの役割を改めて考えさせられる良いきっかけとなりました。

（研究員 坂 知樹）

【人材銀行局】

職員紹介

不稼働資産の解消を目指して

全農を定年退職し引き続き、開発機構職員として建築士としてのノウハウを活かしてJA上伊那総務企画部総務課で固定資産取得、インフラ整備及び不稼働資産の解消等を主な業務として頑張っている熊谷和乗さんです。

特に合併以前からの借地やその他不稼働資産の見直し解消による年間の賃借料、減価償却費等の経費削減を大きな仕事の目標に掲げ勤務されています。

所有者との賃借料の見直し交渉などは旧JAから長期間反復継続で更新されてきた賃貸借契約でもあり減額で承諾して頂く事はなかなか大変な事と話され、いろいろな方面から声をかけて頂き、忙しい中で充実した日々を送っていると笑いながら話をしてくれました。



職員紹介

松代の「農協学園」は思い出がいっぱい！！

JA長野県総合研修所と聞いて、かつての農協学園で学生生活・研修生活を過ごしたことを思い出す方も多いと思います。

現在は名称変更となっていますが、そこで施設管理をしているのがJA長野中央会の宮崎伸義さんです。

宿泊研修もあるので月曜日に研修所へ出勤して金曜日の夕方まで業務が継続することもあります。

週末に自宅へ帰るとお孫さんが笑顔で迎えてくれますが、そんな団らんの時間も惜しむように、奥さんが担当している果樹栽培の仕事をサポートしているとのこと。

JAグループ新採用職員もこの研修所での研修を社会にデビューする第一歩としています。宮崎さんご自身も青春時代を過ごした学び舎で、県下から集まる皆さんが、研修に集中できるような環境づくりをいただいています。



～ 平成29年度派遣等職員研修会の開催について ～

日時：11月16日（木） 午前10時00分～ 場所：12B会議室
講演：リオ五輪シンクロナイズドスイミング銅メダリスト 箱山 愛香 講師

～編集後記～

今年も空梅雨で比較的朝晩は涼しく過ごしやすいものかと思っていたら、避難警報の出るような激しい雨に加えていつも通りの蒸し暑い7月を迎えました。夏本番を迎え暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。月並みですが、引き続き開発機構をよろしくお願いたしますと共に、皆様からのお問い合わせやご相談をお待ちしております。 (Y)

<発行所>

一般社団法人 長野県農協地域開発機構

長野市大字南長野北石堂1177番地3 JA長野県ビル11階

TEL 026 (236) 3500 (代表) / FAX 026 (236) 3505